

## 夏に多い子どもたちの病気

夏に子どもがよくかかる「夏風邪」と呼ばれるものには、溶連菌感染症<sup>1</sup>、ヘルパンギーナ、プール熱<sup>2</sup>等があります。

せき・くしゃみでの飛まつや、人同士の接触やタオルの共有などの接触などでうつります。

1：A群溶血性レンサ球菌咽頭熱

2：咽頭結膜熱

### 子どもを夏風邪から守るために、 日頃からの予防を！

#### 予防のポイント

①こまめな手洗い



②タオルの共有は控える

・ 集団生活や家庭では、個別のタオルを使いましょう



③日頃から、せきエチケットを

・ せきや、くしゃみがあるときは、マスク着用



日頃から、お互いにつつさない習慣を

< 問合せ > 荒川区保健所保健予防課感染症予防係

03(3802)3111 内線 430



【感染症発生情報（毎週更新）】 荒川区ホームページ

[トップページ](#) [健康・医療・衛生](#) [感染症](#)

[荒川区感染症発生情報（毎週更新）](#)

